国指定文化財庭園に関する基礎資料および統計

A Statistical Analysis of Gardens Designated as Cultural Properties in Japan

大島 知子*
Tomoko OSHIMA

摘要：本研究では、国指定文化財庭園に関する文献を整理し、基礎資料として具体的な情報を示した。また、これを用いて統計をとり、国指定文化財庭園の全体像を明らかにした。その結果、以下のことが分かった。国指定文化財庭園は指定状況から、実質的には名勝として指定された庭園（名勝庭園）とみなしてよく、名勝庭園はこの約 80 年の間、例外的な期間を除けば、ほぼ毎年のように指定され続けている。名勝庭園が名勝全体に占める割合は徐々に大きくなってきており、50%にも達している。名勝庭園は、管理者が寺院であるものが多く、地方公共団体のものも相当数ある。名勝庭園の約 30 %は京都府にあり、近畿地方に約 50%が集中している。

1. 背景と目的

歴史的庭園の保護については、本年（2000 年）、本学会の全国大会分科会において、また、『第 3 回 日・中・韓 国際ランドスケープ専門家会議 2000』において取り上げられるなど、現在、様々な議論がなされている。歴史的庭園には国から文化財として名勝や史跡に指定されているものも少なくない。これら国指定文化財庭園に関しては、これまで主に、個別または都道府県別の調査研究が行われてきた。一方、全国にわたる研究としては、吉川¹⁾による昭和 58 年 8 月 1 日時点、安原²⁾による昭和 63 年 1 月 28 日時点の指定状況および名勝指定されている庭園の都道府県順一覧を示した例などがある。前者では指定区域や現状変更の制限についてなど法制面についての解説もなされている。しかし、実際の具体的な情報を示しての全国にわたる統計研究、特に経年的な側面からの研究はほとんどなく、国指定文化財庭園の全体像の把握には曖昧な部分があった。

表－1 全国の国指定文化財庭園について情報が得られる文献

文献の種類	編集・発行	主な記載事項
目録	発行：大蔵省印刷局	名称、種別、所在地、指定年月日、告示番号、特別指定・追加指定・一部解除・名称変更・指定解除・管理団体指定などそれぞれに対する前記項目
史跡名勝天然記念物一覧・目録	編：文部省、文化庁 など	名称、種別、所在地(番地は除く)、指定・変更等の年月日(一部年月)、指定理由(要目・基準の項目番号)、管理者、その他
全国遺跡地図 史跡・名勝・天然記念物および埋蔵文化財包蔵地地図	発行：文化庁文化財保護部	名称、種別、所在地(番地は除く)、位置(5 万分の 1 の地形図上)

そこで、本研究では、国指定文化財庭園に関する文献を整理し、基礎資料として具体的な情報を示すこと、また、これを用いて統計をとり、文化財庭園の国指定に関する経年変化や地域的分布、管理者の種別等の傾向についての概要を把握することを目的とした。

2. 用語の説明

文化財には国指定の他、都道府県指定、市区町村指定のものがあるが、本研究でいう文化財とは文化財保護法（昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号）により、国から指定を受けたものである。文化財のうち、記念物（史跡・名勝・天然記念物）の保護に関しては、文化財保護法以前から、史蹟名勝天然記念物保存法（大正 8 年 4 月 10 日法律第 44 号）によりその制度が形作られてきており、当時指定されたものも文化財保護法の下に指定されたものと同様に扱われる。また、以下に示す表などで使われている「要目」という語は、当時の保存要目のことで、現行法でいう指定基準にあたるものである。

法制上は、文化財に庭園という分類は無く、記念物の中の史跡または名勝として扱われる。史跡や名勝においても、その指定基準に庭園のみの独立した項目がないため、指定理由の項目番号だけでは庭園に分類しきれない。この点については、4.（2）でも扱う。なお、表中に用いられている「種別」とは、史跡、名勝、特別史跡、特別名勝などの別であり、後に触れる文化庁の文献における「分類別」とは異なる。また、種別には「史跡及び名勝」、「名勝及び史跡」といったものもあるが、本研究ではこれらは重

表－2 一覧・目録から得られる国指定文化財庭園に関する情報

文献名	編集	情報の時期	全文献に記載されている、名称・指定理由(要目・基準の項目番号)・所在地(番地は除く)・管理者、以外の主な記載事項									
			種別	所有	指定・変更等 年月日	管理団体 指定年月日	指定件数 累年比較表	種別 指定件数表	指定件数 都道府県別表	名勝種別 指定件数表	分類別索引	
指定史跡名勝天然記念物 (文部省)		昭和9年2月末日	○	○(民有・国有の別)	○(年月)	×	○	×	○	×	×	
史跡名勝天然記念物一覧 昭和14年2月	文部省宗教局保存課	昭和14年2月末日	○	×	○(年月)	×	○	○	○	×	×	
史跡名勝天然記念物一覧 昭和16年2月	文部省宗教局保存課	昭和16年2月末日	○	×	○(年月)	×	○	○	○	×	×	
史跡名勝天然記念物一覧 昭和18年1月	文部省教化局総務課	昭和18年1月末日	○	×	○(年月)	×	○	○	○	×	×	
史跡名勝天然記念物一覧 昭和18年5月	文部省社会教育局文化課	昭和24年2月末日	○	×	○(年月)	×	○	○	○	×	×	
特別史跡名勝天然記念物史跡名勝天然記念物一覧 (文化財保護委員会)		昭和28年8月末	○	×	○(年月)	×	×	×	○	×	×	
指定文化財総合目録 史跡名勝天然記念物重要民俗資料編	文化庁	昭和49年1月1日	(特別指定は別の一覧)	×	○	管理団体	×	×	×	○	○	
史跡名勝天然記念物 指定目録	文化庁	昭和54年10月31日		×	○	○	×	×	○	○	○	
史跡名勝天然記念物 指定目録	文化庁	昭和59年4月1日		×	○	○	×	×	○	○	○	
史跡名勝天然記念物 指定目録	文化庁	昭和63年12月31日		×	○	○	×	×	○	○	○	

・文献⑤～⑭より作成
・「名勝種別別」、「分類別」とは法制上の類別ではなく、目録上で使用されているものである

*東京農工大学大学院連合農学研究科

図-1 庭園と考えられる史跡・名勝の種別指定件数
(昭和63年12月31日時点)

表-4 指定順名勝庭園一覧 (昭和63年12月31日時点)

名称	所在地	種別	指定理由	指定年月日	管理者
1 常盤公園	茨城県	史・名	史・名1	大11・3・8	茨城県
2 第六園	石川県	特・名	名1	大11・3・8	石川県
3 平野庭園	京都府	史・名	史・名1	大11・3・8	平野市
4 大森池 附名古屋神社	京都府	名	名1	大11・3・8	京都市
5 岡山後楽園	岡山県	特・名	名1	大11・3・8	岡山県
6 栗林公園	香川県	特・名	名1	大11・3・8	香川県
7 小石川後楽園	東京都	特・史・特・名	史・名1	大12・3・7	東京都
8 南海院庭園	京都府	史・名	史・名1	大12・3・7	南海院
9 西芳寺庭園	京都府	史・特・名	史・名1	大12・3・7	西芳寺
10 天龍寺庭園	京都府	史・特・名	史・名1	大12・3・7	天龍寺
11 南禅寺庭園	京都府	史・特・名	史・名1	大13・12・9	白河市
12 真珠庵庭園	京都府	史・特・名	史・名1	大13・12・9	真珠庵
13 大徳寺庭園	京都府	史・特・名	史・名1	大13・12・9	大徳寺
14 大仙院庭園	京都府	史・特・名	史・名1	大13・12・9	大仙院
15 孤篭庵庭園	京都府	史・特・名	史・名1	大13・12・9	孤篭庵
16 龍安寺方丈庭園	京都府	史・特・名	史・名1	大13・12・9	龍安寺
17 鹿苑寺(金閣寺)庭園	京都府	特・史・特・名	史・名1	大14・10・8	鹿苑寺
18 慈照寺(銀閣寺)庭園	京都府	特・史・特・名	史・名1	大14・10・8	慈照寺
19 常楽寺庭園	山口県	史・名	史・名1	大15・2・24	常楽寺
20 醍醐寺三学院庭園	京都府	特・史・特・名	史・名1	昭2・6・14	醍醐寺
21 南台寺庭園	京都府	史・名	史・名1	昭2・6・14	高台寺
22 東田庵	京都府	史・名	史・名1	昭3・2・7	松江市
23 旧龜石坊庭園	福岡県	名	名1	昭3・2・7	民間個人 *
24 万福寺庭園	福岡県	史・名	史・名1	昭3・3・28	万福寺
25 隆光寺庭園	福岡県	史・名	史・名1	昭3・3・28	隆光寺
26 成慶園庭園	石川県	名	名1	昭4・4・2	財団法人成慶園
27 那谷寺庭園	石川県	名	名1	昭4・4・2	那谷寺
28 清水寺本坊庭園	福岡県	名	名1	昭4・4・2	清水寺
29 滝寺庭園	福岡県	名	名1	昭4・12・17	滝寺
30 木前寺庭園	熊本県	史・名	史・名1	昭4・12・17	熊本県
31 東谷新倉氏館跡庭園	福岡県	名	名1	昭5・7・8	福岡市
32 旧玄成院庭園	福岡県	名	名1	昭5・10・3	白山神社 *
33 妙心寺庭園	京都府	名・史	名1・史8	昭6・7・31	妙心寺
34 玉泉院庭園	京都府	名・史	名1・史8	昭6・7・31	玉泉院
35 東海庵庭園	京都府	名・史	名1・史8	昭6・7・31	東海庵
36 雲雲院庭園	京都府	名・史	名1・史8	昭6・7・31	雲雲院
37 退閑院庭園	京都府	名・史	名1・史8	昭6・7・31	退閑院
38 桂雲院庭園	京都府	名・史	名1・史8	昭6・7・31	桂雲院
39 万福寺庭園	福岡県	名	名1	昭7・3・25	万福寺
40 伊藤氏庭園	福岡県	名	名1	昭7・4・19	清光寺
41 西延寺庭園	福岡県	名	名1	昭7・4・19	西延寺
42 榮田氏庭園	福岡県	名	名1	昭7・4・19	教養寺
43 隆光寺庭園	神奈川県	名・史	名1・史8	昭7・7・23	隆光寺
44 円覚寺庭園	神奈川県	名・史	名1・史8	昭7・7・23	円覚寺
45 会津松平氏庭園	福岡県	名	名1	昭7・10・19	財団法人会津松平会
46 旧有備館および庭園	宮城県	史・名	史・名1	昭8・2・28	岩出山町
47 妙国寺庭園	宮城県	名	名1	昭8・4・13	妙国寺
48 当麻寺中之坊庭園	奈良県	名・史	名1・史8	昭8・5・1	中之坊
49 円満院庭園	滋賀県	名・史	名1・史8	昭8・12・28	円満院
50 光浄院庭園	滋賀県	名・史	名1・史8	昭8・12・28	光浄院
51 紫雲院庭園	滋賀県	名・史	名1・史8	昭9・12・28	紫雲院
52 胡宮神社事務所庭園	滋賀県	名	名1	昭9・12・28	胡宮神社
53 浄信寺庭園	滋賀県	名	名1	昭9・12・28	浄信寺
54 青岸寺庭園	滋賀県	名	名1	昭9・12・28	青岸寺
55 大通寺金山軒および離亭庭園	滋賀県	名	名1	昭9・12・28	大通寺
56 本願寺大雲院庭園	京都府	特・名・史	名1・史8	昭9・12・28	本願寺
57 慈光院庭園	奈良県	名・史	名1・史8	昭9・12・28	慈光院
58 多賀神社奥書院庭園	滋賀県	名	名1	昭10・6・7	多賀神社
59 旧万福寺庭園	滋賀県	名	名1	昭10・12・24	萬福寺
60 紫雲寺庭園	静岡県	名・史	名1・史8	昭11・9・3	紫雲寺
61 清見寺庭園	静岡県	名	名1	昭11・9・3	清見寺
62 隆光寺庭園	静岡県	名	名1	昭11・9・3	隆光寺
63 竜潭寺庭園	静岡県	名	名1	昭11・9・3	竜潭寺
64 北島氏館跡庭園	三重県	名・史	名1・史8	昭11・9・3	北島神社
65 涉成園	京都府	名	名1	昭11・12・16	本願寺
66 貞観園	新潟県	名	名1	昭12・6・15	財団法人貞観園保存会
67 観音院庭園	鳥取県	名	名1	昭12・12・21	観音院 *
68 徳島氏庭園	鳥取県	名	名1	昭12・12・21	民間個人 *
69 全徳二之丸庭園	京都府	特・名	名1	昭14・11・30	民間個人 *
70 縮景園	広島県	名	名1	昭15・7・12	広島県
71 六義園	東京都	特・名	名1	昭15・8・30	東京都
72 旧徳島城表御殿庭園	徳島県	名	名1	昭16・12・13	徳島市
73 金地院庭園	京都府	特・名	名1	昭18・2・19	金地院
74 成親院庭園	京都府	名	名1	昭18・2・19	成親院
75 東林寺庭園	山梨県	名	名1	昭19・6・26	東林寺
76 智徳院庭園	京都府	名	名1	昭20・2・22	智徳院
77 旧徳島宮庭園	東京都	特・名・特・史	名1・史2・8	昭23・12・18	東京都 *

・文獻14)より作成
ただし、管理者欄の*を付した内容は文獻22)～45)による
・左側(77番まで)は史蹟名勝天然記念物保存法による指定、右側(78番から)は文化財保護法による指定

表-3 庭園と考えられる史跡・名勝のうち「園地」として史跡にのみ指定されたもの (昭和63年12月31日時点)

名称	所在地	種別	指定理由	指定年月日	管理者
1 神泉苑	京都府	史	史3・8	昭10・12・24	神泉苑 文部省
2 旧白金御料地	東京都	天・史	動1・4・10・12 動3・史2	昭24・4・12	
3 平城京左京三条二坊 宮跡庭園	奈良県	特・史	史2・8	昭53・10・27	奈良市

・文獻14)より作成

注 種別の記号、天は天然記念物を意味する。
指定理由の記号、植は天然記念物のうち植物、動は天然記念物のうち動物を意味する。
(この他は、表4の注と同様)

名称	所在地	種別	指定理由	指定年月日	管理者
78 女宮家之園	滋賀県	名	名1	昭26・6・9	彦根市
79 願成庵庭園	京都府	名	名1	昭26・6・9	願成庵
80 南禅寺方丈庭園	京都府	名	名1	昭26・6・9	南禅寺
81 清風荘庭園	京都府	名	名1	昭26・6・9	京都大学
82 無鄰庵庭園	京都府	名	名1	昭26・6・9	京都市
83 盛雲園	青森県	名	名1	昭28・3・31	民間個人 *
84 名古屋城二の丸庭園	愛知県	名	名1	昭28・3・31	名古屋市
85 長土神社庭園	滋賀県	名	名1	昭28・3・31	長土神社
86 円通寺庭園	京都府	名	名1	昭29・3・20	円通寺
87 養徳院書院庭園	京都府	名	名1	昭30・2・3	大仙院
88 大仙院書院庭園	京都府	名	名1	昭30・2・3	大仙院
89 龍安寺庭園	京都府	名	名1	昭30・2・3	龍安寺
90 不審庵(表千家)庭園	京都府	名	名1	昭32・7・10	不審庵 *
91 今日庵(裏千家)庭園	京都府	名	名1	昭32・7・10	今日庵 *
92 虎庵庭園	京都府	名	名1	昭32・7・10	虎庵 *
93 毛越寺庭園	岩手県	特・名	名1	昭32・11・12	平泉町
94 旧大乗院庭園	奈良県	名	名1	昭33・5・15	観光資源保護財団
95 根来寺庭園	和歌山県	名	名1	昭33・5・15	根来寺
96 山崎園 附花倉御屋敷	鹿児島県	名	名1	昭33・5・15	根来寺
97 紫光院庭園	京都府	名	名1	昭33・6・12	紫光院
98 龍泉園	京都府	名	名1	昭33・6・12	本願寺
99 藤辺氏庭園	新潟県	名	名1	昭38・10・11	
100 浄瑠璃寺庭園	京都府	特・名・史	名1・史8	昭40・11・12	浄瑠璃寺
101 光前寺庭園	長野県	名	名1	昭42・5・10	光前寺
102 天教園	愛媛県	名	名1	昭43・5・20	宇和島伊達文化センター
103 水保寺庭園	岐阜県	名	名1	昭44・4・12	水保寺
104 柳田氏庭園	和歌山県	名	名1	昭45・4・2	柳田氏
105 天徳院庭園	和歌山県	名	名1	昭45・6・26	天徳院
106 照福寺庭園	京都府	名	名1	昭45・9・17	照福寺
107 法金剛院青女庵附五位山	京都府	特・名	名1・10	昭46・5・27	法金剛院ほか *
108 宮良殿内庭園	沖縄県	名	名1	昭47・5・15	
109 瑞雲寺庭園	神奈川県	名	名1	昭47・11・8	瑞雲寺
110 円成寺庭園	奈良県	名	名1	昭48・10・9	円成寺 *
111 横久寺庭園	岡山県	名	名1	昭49・7・31	
112 福田寺庭園	滋賀県	名	名1	昭49・11・26	福田寺
113 旧山崎氏庭園	京都府	名	名1	昭50・1・21	山崎氏ほか *
114 保徳寺庭園	京都府	名	名1	昭50・10・16	保徳寺 *
115 平安宮神社	京都府	名	名1	昭50・12・10	平安宮神社 *
116 依木園	奈良県	名	名1	昭50・12・10	財団法人東楽美術館 *
117 隆名園	沖縄県	名	名1	昭51・1・30	
118 山形氏庭園	山形県	名	名1	昭51・12・27	財団法人致道博物館
119 旧円融寺庭園	長崎県	名	名1	昭51・12・27	大村護国神社
120 城福寺庭園	福岡県	名	名1	昭52・2・2	城福寺 *
121 梅田氏庭園	福岡県	名	名1	昭52・3・14	民間個人 *
122 津上寺庭園	広島県	名	名1	昭52・5・7	
123 豊岡院庭園	京都府	名	名1	昭52・6・1	豊岡院 *
124 戸島氏庭園	福岡県	名	名1	昭53・8・25	柳川市
125 松島園	福岡県	名	名1	昭53・8・25	民間個人 *
126 藤江氏家園	福岡県	名	名1	昭53・9・18	
127 向島日花園	東京都	名・史	名1・史8	昭53・10・13	東京都 *
128 瑞雲園	青森県	名	名1	昭54・5・31	弘前市
129 旧之蔵宮庭園	東京都	名	名1	昭54・6・25	東京都 *
130 清隆氏書院庭園	青森県	名	名1	昭54・8・7	民間個人 *
131 安福庵庭園	鹿児島県	名	名1	昭55・2・19	安福庵 *
132 知覚庵庭園	鹿児島県	名	名1	昭56・2・23	
133 萬壽寺庭園	大阪府	名	名1	昭56・5・11	萬壽寺 *
134 居初寺庭園	滋賀県	名	名1	昭56・6・11	民間 *
135 普門寺庭園	大阪府	名	名1	昭56・8・28	普門寺
136 養浩館(旧御泉水屋敷)庭園	福岡県	名	名1	昭57・7・26	福岡市 *
137 宗徳寺庭園	山口県	名	名1	昭58・2・7	宗徳寺
138 南宗寺庭園	大阪府	名	名1	昭58・3・29	南宗寺
139 石山氏庭園	沖縄県	名	名1	昭58・10・27	
140 和歌山城西之丸庭園(紅葉庭園)	和歌山県	名	名1	昭60・11・27	
141 本法寺庭園	京都府	名	名1	昭61・6・16	本法寺 *
142 伊勢殿内庭園	沖縄県	名	名1	昭61・6・16	
143 西明寺本坊庭園	滋賀県	名	名1	昭62・1・24	西明寺 *
144 田淵氏庭園	兵庫県	名	名1	昭62・5・25	
145 東氏館跡庭園	岐阜県	名	名1	昭62・6・13	
146 玉川寺庭園	山形県	名	名1	昭62・8・1	
147 對龍山莊庭園	京都府	名	名1	昭63・12・24	

注1 番号は便宜的に付したもので文獻とは関係がない。
注2 種別の記号は、名は名勝、特名は特別名勝、史は史跡、特史は特別史跡を意味する。
注3 指定理由には指定基準の項目の番号で示されているが、文獻によると昭和25年以前に指定されたものは、史蹟名勝天然記念物保存法の項目を現行の指定基準にあてはめたものとことである。
注4 指定年月日は最初の指定のもので、文獻にあった追加・変更等については省略した。
注5 同一指定年月日のものは順不同として扱ったため、告示の順とは異なるものがある。
注6 管理者については管理団体指定の有無によらず、管理者とされているものを記し、管理団体指定のあるものの指定年月日は省略した。
注7 19番の常楽寺庭園の指定理由は「史・名・2」となっていたが名2は橋梁、築堤であるので 名1の橋梁と改定した。
注8 72番の旧徳島城表御殿庭園の管理者は「徳島県」となっていたが、文獻(44)・(45)から徳島市とした。
注9 140番の和歌山城西之丸庭園の名称は「二の丸」となっていたが、文獻(46)・(47)から西の丸とした。
また、指定年月日は「昭60・11・17」となっていたが、文獻(46)から昭60・11・27とした。

表－５ 新指定された名勝のうち庭園と考えられるもの
昭和 64 年 1 月 1 日（平成元年）から平成 12 年 6 月 30 日まで

	名称	所在 都道府県	種別	指定年月日	文部省告示番号
1	旧大岡寺庭園	兵庫県	名	平元・9・2・2	135号
2	養翠園	和歌山県	名	平元・12・8	169号
3	金剛庵寺明壽院庭園	滋賀県	名	平2・8・4	100号
4	石田城五島氏庭園	長崎県	名	平3・11・16	117号
5	平城京左京三条二坊 宮跡庭園	奈良県	特名	平4・5・6	68号
6	城之越遺跡	三重県	名	平5・10・29	132号
7	向藏寺庭園	山梨県	名	平6・6・6	75号
8	九年庵(旧伊丹氏別 邸)庭園	佐賀県	名	平7・2・21	19号
9	毛利氏庭園	山口県	名	平8・3・29	57号
10	總光寺庭園	山形県	名	平8・3・29	58号
11	延暦寺坂本里坊庭園	滋賀県	名	平10・12・8	171号
12	泰山園	群馬県	名	平12・3・30	49号
13	阿波国分寺庭園	徳島県	名	平12・3・30	50号

・官報より作成 文献50)も参照

注1 種別の記号は、名は名勝を、特名は特別名勝を意味する。
 注2 5番の平城京左京三条二坊宮跡庭園は昭和53年10月27日に既に特別史跡の指定をされている。
 注3 6番の城之越遺跡は同時に史跡の指定もされている。

複指定として、同等に扱い、史跡と名勝の語を用いる際の順番には特に意味はない。ただし、表中に文献の情報をういた場合は、もとの文献の表記に従った。

また、特別史跡、特別名勝とは文化財保護法により導入されたもので、以下に示す表を見る際には、文化財保護法以前に既に史跡や名勝に指定されていたものの場合、最初の指定時期と特別指定の時期には大きな隔たりがあることを留意する必要がある。

なお、管理者・管理団体については、区別して表記されている文献もあったが、表現を簡略化するため、ここでは特別な場合を除き、「管理者」という一語に団体も含むものとした。

3. 研究方法

研究は文献調査により進め、国立国会図書館に所蔵されている官庁資料から文献を収集した。ここでいう官庁資料とは、中央官庁および各都道府県の編・著または発行のものである。また、国会図書館を選択したのは、全国的な文献の場合、同館に最も多く所蔵されていると考えたためである。

調査は以下の手順で行った。①国会図書館のOPAC (Online Public Access Catalog)を用いて検索を行い、該当する可能性のある文献を把握した。なお、検索は、「文化財」「史跡名勝」という語に関する、件名、タイトル中の語による検索を中心に行った。②東京都立中央図書館のOPACを用いて、それらの文献のうち同館に所蔵されている可能性のあるものについて所蔵確認を行った。③実際に文献を閲覧し、該当する場合には必要部分の複写を行った。このとき、両館に所蔵されているものの一部については、閲覧・複写の際に比較的短時間ですむ中央図書館の方を利用した。

以上の手順で集められた文献から情報を抽出し、経年的な部分に注目しながら統計分析を行った。

4. 結果

（1）全国の国指定文化財庭園について情報が得られる文献

個別の庭園や都道府県ごとの情報ではなく、全国の文化財庭園について同一形式で情報を得ることのできる文献としては、表1に示した3種のものがあることがわかった。『官報』³⁾では指定の際の告示内容について確認でき、史跡名勝天然記念物の一覧や目録では、指定基準のどの項目が指定理由とされているかや管理者について、『全国遺跡地図』⁴⁾では所在地を地図上で、それぞれ確認することができる。しかし、これらの文献のうち定期刊行物であるのは『官報』のみで、一覧や目録は特に定期刊行物との記載は無く、所蔵されていた10件の文献も表2に示すように情報の時期の間隔が不揃いであった。また、『全国遺跡地図』は各

都道府県ごとに一冊にまとめられ何年にもわたって順次刊行され、改訂版も出されている。しかし、それぞれ、刊行された時点での情報が記載されているため、同一時点での全国の文化財庭園についての確認はできない。

（2）以降の研究に用いる文献としては、比較的情報の項目が多い、同一時点での全国の情報が得られる、間隔は揃っていないがある程度文献の数がある、という点から一覧や目録を選択した。『官報』は補足的に用いることとし、『全国遺跡地図』はここでは用いなかった。

（2）史跡・名勝における庭園の位置付け

表2に示したように、一覧や目録のうち最新のものには昭和63年12月31日時点の情報が記載されている。この指定目録の分類別索引¹⁵⁾を用いて庭園が史跡や名勝に指定されている件数を求めた。2. で触れたように、このような分類は法制上のものではないが、指定基準の項目番号よりさらに細かく分類がされており、庭園に限定して情報を抽出するのには便利であるため、本研究では、この文化庁による分類を用いた。ここでは仮に、史跡における「園池」の分類と、名勝における「庭園」の分類を、庭園とみなした。結果は図1のようになった。史跡のみの指定が3件で、史跡との重複指定も含め、残りの147件は名勝に指定されている。この史跡指定のみのものを表3にあげた。神泉苑はあまり元の庭園の姿を留めていないこと¹⁶⁾¹⁷⁾、旧白金御料地は自然教育園として利用されてきたこと¹⁸⁾などを考慮すると、これらは、庭園としての意匠的・鑑賞的価値が指定の要件となっているものではないと考えられる。また、平城京左京三条二坊宮跡庭園はこの後、遺跡の修復工事とともに修景植栽が行われ¹⁹⁾、平成4年5月6日に名勝及び特別名勝の指定をされている²⁰⁾。これらのことから、文化財としての庭園はほぼ名勝の範疇に含まれているとみなすことができ、そのうち特に歴史的な価値の高いものが史跡に重複指定されていると解釈することができる。そこで、以下では、庭園は文化財のうち名勝に位置付けられるとし、分類別索引の名勝における「庭園」に分類されたもののみを扱う。また、これらを多くの文献にならい名勝庭園と呼ぶことにする。

（3）基礎資料としての指定順名勝庭園一覧

これまでの研究で示されてきた名勝庭園の一覧は県別に並べられたものであったが、指定の流れを捉えるため、また、新指定があった場合に順次情報を加えていけるようにするため、ここでは、指定順の表を作成した。結果は表4のようになった。資料は（2）と同様に最新の指定目録²¹⁾を用い、昭和63年12月31日時点の情報を整理した。項目は本研究で参考になるもののみを選び、他は割愛した。指定年月日は最初に指定された際のものを示し、その後の特別指定や追加指定などについては省略した。名称や種別は当初のものではなく、この資料が編集された時点のものである。管理者については管理団体指定の有無による区別はせずに列記した。また、目録で所有者の管理とされ、管理者欄が空欄になっているものがあったが、所有者は目録に示されていないため、管理者も不明であった。そこで、各都道府県の文献で補完した。全く同時点での文献は揃わないため、昭和63年12月31日以前の文献と以後の文献を探し、両者で管理者に変更が無かった場合にその者を管理者とみなした。管理者については（5）で触れるので、ここでは指定の流れに注目する。

表4を見ると、数件ごとに順次指定されて行った様子がわかる。最初の指定が行われた大正11年から昭和12年までの15年間は毎年指定が行われている。その後もほぼ毎年続けられ、太平洋戦争中も5件の指定がされている。終戦直後の昭和21・22年、文化財保護法制定前後の昭和24・25年には指定がないが、その後も昭和34～37年が最も長い無指定期である以外はほぼ毎年指定がされていることがわかる。

図－2 名勝庭園の指定件数および名勝全体に占める割合の経年変化

・表4および文献6), 9), 12), 14), 51)～53)より作成

また、最初の指定がされた大正11年から昭和2年までの5年間には、後に特別名勝に指定される庭園が数多く含まれており、重要であるとみなされた庭園から指定されて行ったものと考えられる。

なお、指定解除については、ここで用いた目録では分類索引のような分類はされていない。名勝はその時点までに6件指定解除されており、そのうちの4件が「(サクラ)」との記載がある。あとの2件は「江ノ島」と「堀切小高園」である。後者は昭和8年2月28日に指定され、昭和29年3月20日に解除されている。指定理由の保存要目の項目は「一、三」とされ、「一」には「公園及庭園」とあり、「三」には「花樹、花草、紅葉」などが含まれる⁴⁸⁾。同様に「一、三」で指定を受けている「須賀川の牡丹園」(所在地：福島県)の場合、分類索引では「庭園」ではなく「花樹」とされている。「堀切小高園」(所在地：東京都)も菖蒲園である側面から同様に「花樹」の分類と考え、ここでは庭園とみなさなかった。これにより、指定解除された庭園はなかった形となった。

表4では昭和63年までの指定について示したが、参考のため、その後についても『官報』を用いて調査した。情報を採手手順は次のようにした。まず、昭和64年・平成元年から平成11年の『法令全書 総目録』⁴⁹⁾を用い、名勝の指定が行われた際の日付と『官報』の頁を確認した。平成12年については『官報』の各月の目録から同様に日付と頁を確認した。これらの目録には指定されるものの名称などの情報は記載されていないため、次に、それぞれの日付の『官報』で告示を確認した。『官報』には指定理由の項目などは示されていないため、庭園かどうかの判断は以下のようにした。名称の最後に庭園とつくものは無条件で選択する。それ以外は、文化財保護審議会の答申の後に『月刊文化財』⁵⁰⁾に掲載される、「新指定文化財の紹介」を参考にする。その結果、平成12年6月30日までに名勝の指定が15件あり、そのうち庭園と考えられるものは表5に示す13件であった。なお、指定解除についても同様に調査したが、庭園と考えられるものはなかった。

(4) 名勝庭園の指定件数および名勝全体に占める割合の経年変化

表4の結果を用い、史蹟名勝天然記念物保存法が制定されてからをほぼ10年ごとに区切って、指定件数の変化、名勝庭園の名勝全体に占める割合の変化、この2点を経年的にとらえた。結果は図2に示す。情報の確度をそろえるため、ここでは表5の結果と(3)の最後に示した『官報』から得られた情報は直接用いず、後で参考として触れることとした。そのため、図2では昭和63年までの経年変化を示すこととなった。名勝全体の指定件数は、

表2に示した一覧や目録に記載されていたものを用いた。ただし、一覧や目録のない時期については、『文部省年報』の該当する年度の記載情報を用いた^{51)～53)}。名勝の指定件数は各時点で指定されている件数で、指定解除されたものは差し引かれている。名勝庭園の場合も同様であるが、(3)で示したように、ここでは指定解除された庭園はないと考えられるため、積算として扱うことができる。

図2から、名勝庭園は昭和63年時点での指定件数が147件であり、そのうち半数に近い68件が、史蹟名勝天然記念物保存法の制定後20年間に指定されていることが分かる。その後の30年間は比較的增加件数が少ないが、昭和44年以降は再び多くなっている。

名勝全体における名勝庭園の割合は、文化財保護法制定以前の昭和24年までは、ほぼ30%と一定しているのに対し、その後は徐々に割合を増し、昭和63年の段階では50%以上となっている。庭園が名勝の中でも重要な位置を占めてきていることが分かる。これは、『文化財保護の実務(上)』で昭和54年当時の文化庁の目標として、「名勝については庭園に重点をおくこととし」という記述があるのと一致している⁵⁴⁾。

特別名勝に限ってみると、特別名勝庭園、特別名勝全体のどちらも、特別名勝の制度が導入された直後の9年間で既にほとんどの指定がなされていることが分かる。当初から特別名勝全体に占める庭園の割合は大きく、特別指定に限定しない場合と同様に、その割合は増加してきている。

また、(3)の最後に参考として示した『官報』からの情報で、平成12年6月30日までに名勝の新指定は15件あり、そのうち13件が庭園と考えられることから、庭園が名勝の中でも中心的な位置を占めてきているという傾向は、その後も続いていると考えられる。

(5) 名勝庭園の管理者分類

名勝庭園がどのように利用されているのか、それを考える上での目安として、表4の結果を用いて、昭和63年12月31日時点の管理者による分類を行った。ここで、所有者ではなく管理者に注目したのは、所有者と管理者が異なる場合や、所有者が複数の場合、実際の管理者によってその名勝庭園の利用のされ方が特徴付けられると考えたためである。結果は表6に示す。(3)でも触れたように管理者に関しては、全名勝庭園147件の2割にあたる28件について文献を組み合わせで情報を収集した。管理者または所有者が示されている文献がない、あるいは昭和63年前後の文献から、その間に管理者の変更があったことがわかり、注目している時点での管理者を判断できない、というものは15件あ

表－6 名勝庭園の管理者分類（概要） 昭和 63 年 12 月 31 日時点

(i) 名勝庭園全体の場合 計147件

管理者	件数	割合	管理者	件数	割合
都県	10	7 %	地方公共団体	27	18 %
市町	17	12 %			
国立大学	1	1 %			
神社	7	5 %	社寺	87	59 %
寺院	80	54 %			
法人・その他団体	10	7 %			
個人	7	5 %			
(判断不可)	15	10 %			

(ii) 特別名勝庭園に限定した場合 計20件

管理者	件数	割合	管理者	件数	割合
都県	6	30 %	地方公共団体	8	40 %
市町	2	10 %			
国立大学	0	0 %			
神社	0	0 %	社寺	12	60 %
寺院	12	60 %			
法人・その他団体	0	0 %			
個人	0	0 %			
(判断不可)	0	0 %			

・表 4 [文献14), 22)～45)] より作成

- 注 1 基本的には文献14)によるが、28件については文献22)～45)によるもの。
- 注 2 管理者または所有者が示されている文献がない、あるいは昭和63年前後の文献からその間に管理者の変更があり、注目している時点での管理者を判断できないものは、(判断不可)とした。
- 注 3 管理者名に「院」がつくものは寺院、不審庵、今日庵、燕庵は団体とし、それ以外の「庵」とつくものは寺院とした。

り、全体の1割がこれにあたる。また、管理者が「・・庵」「・・院」といった名称のものについては厳密な確認はしておらず、図の注のように分類した。なお、管理者に農林水産省があげられているものが2件あったが、どちらも管理者が二つ明記されており、確認はしていないが農林水産省は庭園の周辺にある林地に関しての管理ではないかと考え、ここでは、他方の管理者を分類に用いた。

これらの点から、表6は概算という段階に留めた。しかし、これらの点を考慮に入れても半数近く、あるいはそれ以上が社寺管理であり、特に寺院によるものが非常に多いことが分かる。また、地方公共団体によるものも相当数ある。特に、特別名勝に限ると、20件中3件が上記のような確度の落ちる情報を含むことを考慮しても、地方公共団体の割合が大きいことが分かる。地方公共団体の場合、都市公園としての利用もあるため⁵⁰⁾、名勝庭園の利用のされ方としては、寺院の庭として、都市公園として、個人邸の庭としてなどの形があることが分かる。

(6) 都道府県別名勝庭園数

名勝についての都道府県別指定件数表は文献にもあるが、庭園に限定したものはないため、ここでは、前述の最新の目録を用いて、名勝庭園の所在地を都道府県別に比較した。結果を表7に示す。所在地には偏りがあり、全体の3分の1が京都府に、ついで滋賀県、福井県に多く、この時点では10の道県には名勝庭園は

なかった。地方別に見ると、近畿地方が半数を占め、次いで中部地方、九州地方となっている。特別名勝の庭園に限定すると、半数以上が京都府にあり、東京都にも数件ある他は、一件ずつ散らばっていることがわかる。

文化財の保護には各都道府県教育委員会が大きな役割を果たすが、以上のことから、名勝庭園の保護が重要項目となる県とはほとんど無関係である県とがあるものと考えられる。

5. まとめ

本研究では国指定文化財庭園についての文献を整理し、指定されている庭園の情報を具体的に一覧にして示した。またこれらを用いて統計研究を行った。その結果、以下のようなことがわかった。

①史跡・名勝に重複指定されている庭園は、第一に名勝として芸術上、鑑賞上の価値が評価されたものであり、このうち特に歴史的価値の高いものが史跡にも重複して指定されていると解釈することができる。このため、国指定文化財庭園は実質的には名勝として指定された庭園(名勝庭園)とみなせる。②この約80年の間、2、3の例外的な期間を除けば、ほぼ毎年のように庭園が名勝に指定され続け、昭和63年の段階では147件に達している。名勝庭園が名勝全体に占める割合は徐々に大きくなってきており、

表－7 都道府県別名勝庭園数 昭和 63 年 12 月 31 日時点

都道府県	名勝庭園 件数	割合	特別名勝庭園 件数	割合	都道府県	名勝庭園 件数	割合	特別名勝庭園 件数	割合	都道府県	名勝庭園 件数	割合	特別名勝庭園 件数	割合
北海道	0	0 %			新潟県	2	1 %			鳥取県	2	1 %		
	0	0 %	0	0 %	富山県	0	0 %			島根県	3	2 %		
青森県	3	2 %			石川県	3	2 %	1	5 %	岡山県	2	1 %	1	5 %
岩手県	1	1 %	1	5 %	福井県	10	7 %			広島県	2	1 %		
宮城県	1	1 %			山梨県	1	1 %			山口県	2	1 %		
秋田県	0	0 %			長野県	1	1 %				11	7 %	1	5 %
山形県	2	1 %			岐阜県	2	1 %			徳島県	1	1 %		
福島県	2	1 %			静岡県	4	3 %			香川県	1	1 %	1	5 %
	9	6 %	1	5 %	愛知県	1	1 %			愛媛県	2	1 %		
茨城県	1	1 %				24	16 %	1	5 %	高知県	0	0 %		
栃木県	0	0 %			三重県	1	1 %				4	3 %	1	5 %
群馬県	0	0 %			滋賀県	14	10 %			福岡県	5	3 %		
埼玉県	0	0 %			京都府	47	32 %	13	65 %	佐賀県	0	0 %		
千葉県	0	0 %			大阪府	3	2 %			長崎県	1	1 %		
東京都	5	3 %	3	15 %	兵庫県	2	1 %			熊本県	1	1 %		
神奈川県	3	2 %			奈良県	5	3 %			大分県	0	0 %		
	9	6 %	3	15 %	和歌山県	4	3 %			宮崎県	1	1 %		
						76	52 %	13	65 %	鹿児島県	2	1 %		
										沖縄県	4	3 %		
											14	10 %	0	0 %
										全国	147	100 %	20	100 %

・文献14)より作成

50%以上にもなっている。③名勝庭園の管理者の分類については概算であるが、寺院によるものが多く、地方公共団体も相当数ある。④名勝庭園の3分の1以上が京都府にあり、近畿地方に半数が集中している。

なお、本研究では国指定文化財庭園の全体像を把握するための、

具体的な情報や、統計を示すことに主眼を置いたが、今後は、ここで得られた結果をふまえ、これらの国指定文化財庭園がどのように保護されて来たのかを、統計調査も含め研究して行く必要があると考える。

引用文献

1) 吉川 需 (1983) : 名勝としての庭園「日本の名勝 第一巻 庭園Ⅰ」: 講談社, 13-23

2) 安原啓示 (1988) : 史跡名勝庭園の現状と課題「昭和62年度 東京都における文化財庭園の保存・復原・管理に関する調査報告書」(東京都建設局公園緑地部): 日本造園学会, 41-46, [東京都公園協会 緑の資料室 所管]

3) 大蔵省印刷局 発行: 官報

4) 全国遺跡地図 史跡・名勝・天然記念物および埋蔵文化財包蔵地地図: 文化庁文化財保護部

5) (文部省) (1934) : 指定史蹟名勝天然記念物, [国立国会図書館所蔵]

6) 文部省宗教局保存課 (1939) : 史蹟名勝天然記念物一覧 昭和14年2月, [国立国会図書館所蔵]

7) 文部省宗教局保存課 (1941) : 史蹟名勝天然記念物一覧 昭和16年2月, [国立国会図書館所蔵]

8) 文部省教化局総務課 (1943) : 史蹟名勝天然記念物一覧 昭和18年1月, [国立国会図書館所蔵]

9) 文部省社会教育局文化課 (1949) : 史跡名勝天然記念物一覧, [国立国会図書館所蔵]

10) (文化財保護委員会) (1953) : 特別史跡名勝天然記念物史跡名勝天然記念物一覧, [国立国会図書館所蔵]

11) 文化庁 (1974) : 指定文化財総合目録 史跡名勝天然記念物重要民俗資料編: 第一法規

12) 文化庁 (1980) : 史跡名勝天然記念物 指定目録: 第一法規

13) 文化庁 (1984) : 史跡名勝天然記念物 指定目録: 第一法規

14) 文化庁 (1989) : 史跡名勝天然記念物 指定目録: 第一法規

15) 同上 314-317

16) 牛川喜幸 (1981) : 日本の庭園・第二巻 池泉の庭: 講談社, p.179

17) 森 蘊(1993) : 日本史小百科 庭園: 東京堂出版, 150-151

18) 桜井信夫(1981) : 東京公園文庫 25 自然教育園: 東京都公園協会, 1-29

19) 文化庁文化財保護部 (1987) : 新指定の文化財: 月刊文化財 1月号, 20-22

20) (1992) : 文部省告示第68号: 官報 平成4年5月6日第902号, p.7

21) 前掲14)

22) 青森県教育庁文化課 (1990) : 県内指定文化財一覧「昭和63年青森県統計年鑑」(青森県企画部統計課): 青森県統計協会, p.286

23) 青森県教育庁文化課 (1991) : 県内指定文化財一覧「青森県統計年鑑 平成元年」(青森県企画部統計課), p.298

24) 東京都教育庁社会教育部文化課 (1984) : 東京都文化財総合目録 昭和59年度版, 262-265

25) 東京都教育庁社会教育部文化課 (1990) : 東京都文化財総合目録 平成元年度版, 276-279

26) 福井県教育庁文化課 (1990) : 文化財「福井県統計年鑑 昭和63年(第36回)」(福井県総務部情報統計課): 福井県統計協会, p.277

27) 福井県教育庁文化課 (1991) : 文化財「福井県統計年鑑 平成元年(第37回)」(福井県総務部情報統計課): 福井県統計協会, p.275

28) 滋賀県教育委員会事務局文化部文化財保護課 監修 (1985,1988) : 滋賀県文化財目録 昭和60年版 昭和63年度追録: 滋賀県文化財保護協会, 150-154, 追録 p.6

29) 滋賀県教育委員会事務局文化部文化財保護課 (1990) : 滋賀県文化財目録 平成2年版: 滋賀県教育委員会, 170-174

30) 京都府教育委員会 (1987) : 京都府 国指定文化財総合目録 昭和62年3月31日現在, 347-375

31) 京都府教育委員会 (1993) : 京都府 国指定文化財総合目録 平成5年3月現在, 393-421

32) 兵庫県教育委員会 社会教育・文化財課 (1986) : 指定文化財目録 昭和60年度版, p.45

33) 兵庫県教育委員会 社会教育・文化財課 (1989) : 指定文化財目録 平成元年度版, p.45

34) 奈良県教育委員会事務局 (1986) : 奈良県・指定文化財目録, 60, 70

35) 奈良県教育委員会文化財保護課 (1993) : 奈良県・指定文化財目録, 69, 80

36) 鳥取県教育委員会文化課 監修 (1985) : 鳥取県の文財: 鳥取県文化財保存協会, p.39

37) 鳥取県教育委員会 (1995) : 鳥取県の文化財, p.169

38) 愛媛県教育委員会 (1982) : 愛媛県の文化財, p.524

39) 愛媛県教育委員会文化財保護課 (1993) : 愛媛の文化財: 愛媛県教育委員会, p.476

40) 福岡県教育委員会 (1982) : 新訂 福岡県文化財目録, p.71

41) 福岡県教育委員会 (1995) : 福岡県文化財目録 平成6年度版, p.79

42) 長崎県教育委員会 (1987) : 長崎県の文化財, p.113

43) 長崎県教育委員会 (1996) : 長崎県の文化財, p.149

44) 徳島県教育委員会文化課 (1989) : 文化財「徳島県統計書 昭和62年」(徳島県): 徳島県統計協会, p.317

45) 徳島県教育委員会文化課 (1990) : 文化財「徳島県統計書 昭和63年」(徳島県): 徳島県統計協会, p.313

46) (1985) : 文部省告示第129号, 官報 昭和60年11月27日第17639号, p.5

47) 文化庁文化財保護部 (1985) : 新指定の文化財: 月刊文化財 5月号, p.19

48) 前掲9), pp.20, 106

49) 大蔵省印刷局: 法令全書総目録

50) 文化庁文化財保護部 監修: 月刊文化財 : 第一法規

51) (文部大臣官房文書課) (1933) : 日本帝国文部省第56年報 自昭和3年4月至昭和4年3月上巻 : (復刻 1973: 宣文堂), p.537

52) 文部省調査局統計課 発行 (1960) : 文部省第86年報 昭和33年度, p.171

53) 文部省 (1970) : 文部省第96年報 昭和43年度: 大蔵省印刷局, p.184

54) 牛川喜幸 (1979) : 名勝・天然記念物「文化財保護の実務(上)」(児玉幸多・仲野 浩編), p.417

55) 建設省都市局 監修 (1997) : 公園緑地マニュアル(改訂版) 平成7年度: 日本公園緑地協会, 481-519

Summary : This study provides basic data on the gardens designated as national Cultural Properties in Japan. The data were collected from government documents and statistics based on them give an overall view of these Cultural Properties. Gardens are generally included in the category of *Meishou* (Place of Scenic Beauty) among Cultural Properties. Therefore, in this study such gardens are called *Meishou* gardens. During the last 80 years, gardens have been newly designated as *Meishou* almost every year, with a few exceptional periods, and the proportion of gardens among the total number of *Meishou* has now reached approximately 50%. The data suggest that a large number of *Meishou* gardens are managed by Buddhist temples and a considerable number by local governments. 30% of *Meishou* gardens are located in Kyoto Prefecture and 50% are located in Kinki area including Kyoto.